

山口県 リスキリングに関する企業の意識調査

『リスキリングに積極的』は 22.1%にとどまる ～時間や人材、スキル・ノウハウ不足が課題～

はじめに

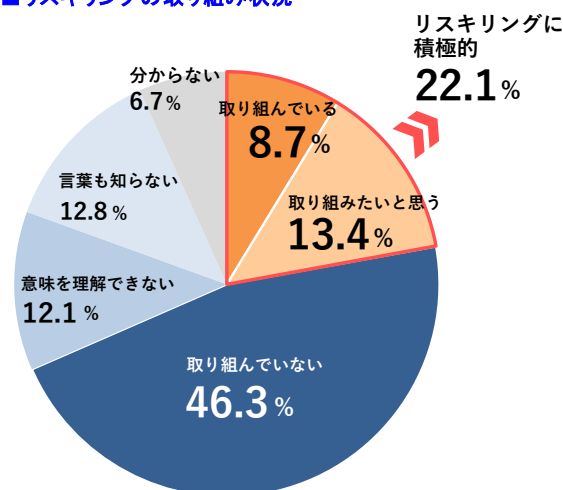
人手不足が深刻化するなか、「人への投資」による生産性向上は、企業経営にとって看過できないテーマとなっている。賃上げ機運が高まるなか、人材の確保・定着に欠かせない賃上げ原資を確保するためには、1人当たりの労働生産性を高めることが求められている。

リスキリングとは、「新しい職業に就くために、あるいは今の職業で必要とされるスキルの大幅な変化に適応するために、必要なスキルを獲得する/させること」で、世界経済フォーラムにおいては、2018年から3年連続でリスキリングセッションが開催された。

日本では「骨太の方針」に盛り込まれ、2022年に岸田前首相がリスキリング支援として5年間で1兆円を投じると表明し、政府も助成金などあらゆる支援策を積極的に講じている。石破首相の所信表明演説でもその重要性が触れられるなど、近年より一層注目度が高まっている。

そこで、帝国データバンク山口支店では、リスキリングに関する企業の意識などを集計・分析した。調査期間は2024年10月18日～31日、調査対象は山口県に本店を置く企業504社で、有効回答企業数は149社（回答率29.6%）。

■リスキリングの取り組み状況



調査結果（要旨）

1. リスキリングに「取り組んでいる」企業は8.7%、「今後、取り組みたいと思う」企業は13.4%で、これらを合計した『リスキリングに積極的』な企業は22.1%にとどまる
2. リスキリングの取り組み、「従業員のスキルの把握、可視化」が63.6%で最も高く
3. リスキリングに取り組む上での課題、「対応する時間が確保できない」が40.9%でトップ

1. 『リスキリングに積極的』、22.1%にとどまる

山口県の企業に対して、リスキリングの取り組み状況について尋ねたところ、「言葉の意味を理解し、取り組んでいる」が構成比 8.7% (13 社)、「言葉の意味を理解し、取り組みたいと思っている」が 13.4% (20 社) となり、これらを合計した『リスキリングに積極的』は 149 社中 33 社、構成比 22.1%にとどまった。

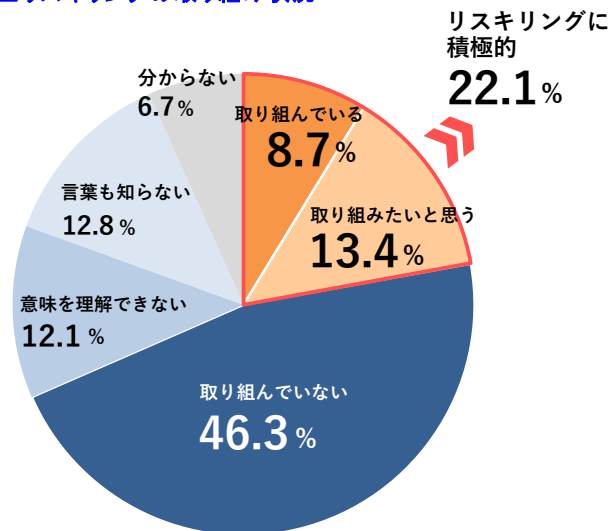
一方、「言葉の意味を理解しているが、取り組んでいない」が 46.3% (69 社) で最も高かった。また、「言葉は知っているが、意味を理解できない」は 12.1% (18 社)、「言葉も知らない」は 12.8% (19 社)、「分からない」は 6.7% (10 社) だった。

全国と比較すると、『リスキリングに積極的』では、『全国』(構成比 26.1%・2905 社) を 4.0 ポイント下回った。

規模別でみると、『リスキリングに積極的』では、『中小企業』が構成比 22.4% (30 社)、『大企業』が 20.2% (3 社)、『小規模企業』が 19.3% (11 社) の順に高かった。一方、「言葉の意味を理解しているが、取り組んでいない」では、『小規模企業』(52.6%・30 社)、『大企業』(46.7%・7 社)、『中小企業』(46.3%・62 社) の順に高かった。

業種別(母数 5 社以上) でみると、『リスキリングに積極的』では、『運輸・倉庫』(構成比 40.0%・2 社) が最も高く、『サービス』(36.8%・7 社)、『建設』(30.0%・9 社) が続いた。

■リスキリングの取り組み状況



■リスキリングの取り組み状況

(構成比%、カッコ内社数)

	言葉の意味を理解し、 取り組んでいる	言葉の意味を理解し、 取り組みたいと思っ ている	リスキリングに 積極的	言葉の意味を理解し ているが、取り組んで いない	言葉は知っているが、 意味を理解できない	言葉も知らない	分からない	合計
全国	8.9 (990)	17.2 (1,915)	26.1 (2,905)	46.1 (5,133)	9.5 (1,055)	10.1 (1,123)	8.2 (917)	100.0 (11,133)
山口	8.7 (13)	13.4 (20)	22.1 (33)	46.3 (69)	12.1 (18)	12.8 (19)	6.7 (10)	100.0 (149)
大企業	13.3 (2)	6.7 (1)	20.0 (3)	46.7 (7)	6.7 (1)	6.7 (1)	20.0 (3)	100.0 (15)
中小企業	8.2 (11)	14.2 (19)	22.4 (30)	46.3 (62)	12.7 (17)	13.4 (18)	5.2 (7)	100.0 (134)
うち小規模	8.8 (5)	10.5 (6)	19.3 (11)	52.6 (30)	10.5 (6)	14.0 (8)	3.5 (2)	100.0 (57)
農・林・水産	0.0 (0)	66.7 (2)	66.7 (2)	33.3 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	100.0 (3)
建設	16.7 (5)	13.3 (4)	30.0 (9)	43.3 (13)	6.7 (2)	13.3 (4)	6.7 (2)	100.0 (30)
不動産	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	100.0 (3)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	100.0 (3)
製造	9.8 (4)	7.3 (3)	17.1 (7)	58.5 (24)	9.8 (4)	9.8 (4)	4.9 (2)	100.0 (41)
卸売	0.0 (0)	16.7 (6)	16.7 (6)	38.9 (14)	25.0 (9)	16.7 (6)	2.8 (1)	100.0 (36)
小売	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	41.7 (5)	16.7 (2)	25.0 (3)	16.7 (2)	100.0 (12)
運輸・倉庫	20.0 (1)	20.0 (1)	40.0 (2)	20.0 (1)	20.0 (1)	0.0 (0)	20.0 (1)	100.0 (5)
サービス	15.8 (3)	21.1 (4)	36.8 (7)	42.1 (8)	0.0 (0)	10.5 (2)	10.5 (2)	100.0 (19)

注1：網掛けは、山口県の全体以上を表す
注2：母数は、有効回答企業149社

2. 現在の取り組み内容、「従業員のスキルの把握、可視化」が63.6%

山口県のリスキリングに取り組んでいる企業に対し、現在の取り組みを尋ねたところ、「従業員のスキルの把握、可視化」が63.6% (21社) で最も高く、6割以上になった(複数回答、以下同)。

次いで、「経営層から従業員に学習が必要なスキルを伝達」が39.4% (13社)、「eラーニング、オンライン学習サービスなどの活用」が33.3% (11社)、「経営層による新しいスキルの学習、把握」「就業時間内におけるリスキリングの実施」がそれぞれ30.3% (各10社) となり、3割を超え続いた。

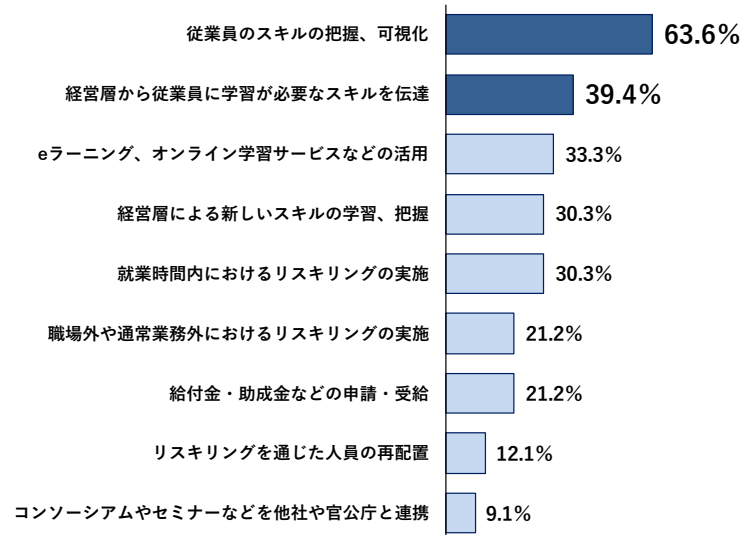
以下、「職場外や通常業務外におけるリスキリングの実施」「給付金・助成金などの申請・受給」が各21.2% (各7社)、「リスキリングを通じた人員の再配置」が12.1% (4社)、「コンソーシアムへの参画、他社のセミナーへの参加など他社や官公庁との連携」が9.1% (3社) となった。

「従業員のスキルの把握、可視化」について、全国と比較すると、『全国』(構成比52.1%・1514社) を11.5ポイント上回った。

規模別でみると、『中小企業』(構成比66.7%・20社)、『小規模企業』(54.5%・6社)、『大企業』(33.3%・1社) の順に高かった。

業種別 (母数2社以上) でみると、『農・林・水産』(構成比100%・2社) が最も高く、『建設』(各66.7%・6社)、『製造』(各66.7%・4社) が続いた。

■現在の取り組み内容



注：母数は、リスキリングに「積極的」と回答した33社

■リスキリングの取り組み状況

(構成比%、カッコ内社数)

	言葉の意味を理解し、取り組んでいる	言葉の意味を理解し、取り組みたいと思っている	リスキリングに積極的	言葉の意味を理解しているが、取り組んでいない	言葉は知っているが、意味を理解できない	言葉も知らない	分からない	合計
全国	8.9 (990)	17.2 (1,915)	26.1 (2,905)	46.1 (5,133)	9.5 (1,055)	10.1 (1,123)	8.2 (917)	100.0 (11,133)
山口	8.7 (13)	13.4 (20)	22.1 (33)	46.3 (69)	12.1 (18)	12.8 (19)	6.7 (10)	100.0 (149)
大企業	13.3 (2)	6.7 (1)	20.0 (3)	46.7 (7)	6.7 (1)	6.7 (1)	20.0 (3)	100.0 (15)
中小企業	8.2 (11)	14.2 (19)	22.4 (30)	46.3 (62)	12.7 (17)	13.4 (18)	5.2 (7)	100.0 (134)
うち小規模	8.8 (5)	10.5 (6)	19.3 (11)	52.6 (30)	10.5 (6)	14.0 (8)	3.5 (2)	100.0 (57)
農・林・水産	0.0 (0)	66.7 (2)	66.7 (2)	33.3 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	100.0 (3)
建設	16.7 (5)	13.3 (4)	30.0 (9)	43.3 (13)	6.7 (2)	13.3 (4)	6.7 (2)	100.0 (30)
不動産	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	100.0 (3)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	100.0 (3)
製造	9.8 (4)	7.3 (3)	17.1 (7)	58.5 (24)	9.8 (4)	9.8 (4)	4.9 (2)	100.0 (41)
卸売	0.0 (0)	16.7 (6)	16.7 (6)	38.9 (14)	25.0 (9)	16.7 (6)	2.8 (1)	100.0 (36)
小売	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	41.7 (5)	16.7 (2)	25.0 (3)	16.7 (2)	100.0 (12)
運輸・倉庫	20.0 (1)	20.0 (1)	40.0 (2)	20.0 (1)	20.0 (1)	0.0 (0)	20.0 (1)	100.0 (5)
サービス	15.8 (3)	21.1 (4)	36.8 (7)	42.1 (8)	0.0 (0)	10.5 (2)	10.5 (2)	100.0 (19)

注1：網掛けは、山口県の全体以上を表す

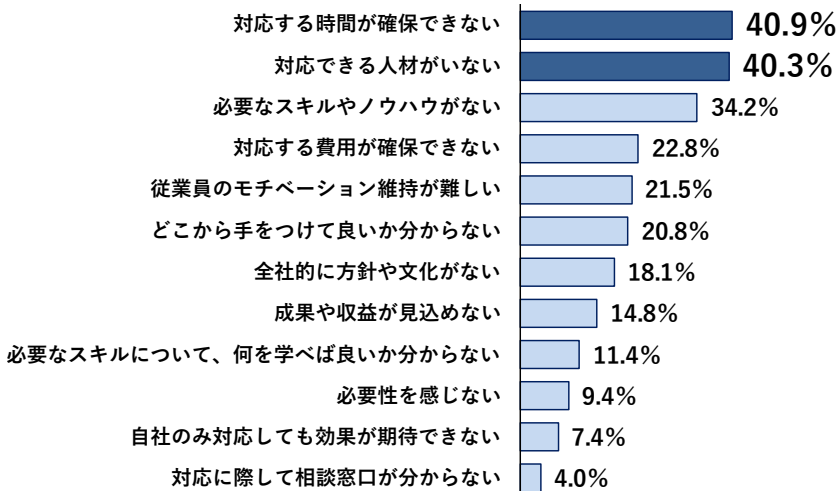
注2：母数は、有効回答企業149社

3. 取り組む上での課題、「時間が確保できない」が40.9%でトップ

山口県の企業に対し、リスキリングに取り組む上での課題を尋ねたところ、「対応する時間が確保できない」が149社中61社、構成比40.9%で最も高かった（複数回答、以下同）。

次いで、「対応できる人材がない」が40.3%（60社）となり、「必要なスキルやノウハウがない」が34.2%（51社）で3割を超えて続いた。

■リスキリングに取り組む上での課題



注：母数は、有効回答企業149社

以下、「対応する費用が確保できない」が22.8%（34社）、「従業員のモチベーション維持が難しい」が21.5%（32社）、「どこから手をつけて良いか分からない」が20.8%（31社）、「全社的に方針や文化がない」が18.1%（27社）、「成果や収益が見込めない」が14.8%（22社）、「必要なスキルについて、何を学べば良いか分からない」が11.4%（17社）となった。

そのほか、「必要性を感じない」が9.4%（14社）、「自社のみ対応しても効果が期待できない」が7.4%（11社）、「対応に際して相談窓口が分からない」が4.0%（6社）で1割未満となった。

■リスキリングに取り組む上での課題

(構成比%, カッコ内社数)														
	対応できる人材が ない	対応する費用が確 保できない	対応する時間が確 保できない	必要なスキルや ノウハウがない	全社的に方針や文 化がない	従業員のモチベ ーション維持が難 しい	自社のみ対応し ても効果が期待で ない	成果や収益が見 込めない	対応に際して相談 窓口が分からない	どこから手をつ けて良いか分から ない	必要なスキルに ついて、何を学べ ば良いか分から ない	その他	必要性を感じない	合計
全国	38.9 (4,332)	23.2 (2,578)	42.1 (4,690)	30.9 (3,444)	18.8 (2,092)	26.0 (2,895)	6.3 (704)	12.3 (1,370)	5.1 (573)	17.4 (1,940)	11.0 (1,225)	3.2 (360)	7.5 (833)	- (11,133)
山口	40.3 (60)	22.8 (34)	40.9 (61)	34.2 (51)	18.1 (27)	21.5 (32)	7.4 (11)	14.8 (22)	4.0 (6)	20.8 (31)	11.4 (17)	0.7 (1)	9.4 (14)	- (149)
大企業	33.3 (5)	0.0 (0)	33.3 (5)	40.0 (6)	20.0 (3)	20.0 (3)	6.7 (1)	13.3 (2)	6.7 (1)	26.7 (4)	26.7 (4)	0.0 (0)	6.7 (1)	- (15)
中小企業	41.0 (55)	25.4 (34)	41.8 (56)	33.6 (45)	17.9 (24)	21.6 (29)	7.5 (10)	14.9 (20)	3.7 (5)	20.1 (27)	9.7 (13)	0.7 (1)	9.7 (13)	- (134)
うち小規模	38.6 (22)	29.8 (17)	43.9 (25)	28.1 (16)	10.5 (6)	17.5 (10)	3.5 (2)	12.3 (7)	3.5 (2)	21.1 (12)	12.3 (7)	0.0 (0)	12.3 (7)	- (57)
農・林・水産	33.3 (1)	0.0 (0)	33.3 (1)	66.7 (2)	33.3 (1)	33.3 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	33.3 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	- (3)
建設	33.3 (10)	20.0 (6)	63.3 (19)	30.0 (9)	13.3 (4)	16.7 (5)	3.3 (1)	10.0 (3)	0.0 (0)	20.0 (6)	13.3 (4)	0.0 (0)	6.7 (2)	- (30)
不動産	33.3 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	33.3 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	- (3)
製造	41.5 (17)	24.4 (10)	39.0 (16)	36.6 (15)	9.8 (4)	17.1 (7)	2.4 (1)	14.6 (6)	4.9 (2)	24.4 (10)	17.1 (7)	0.0 (0)	7.3 (3)	- (41)
卸売	52.8 (19)	27.8 (10)	36.1 (13)	36.1 (13)	19.4 (7)	13.9 (5)	19.4 (7)	11.1 (4)	22.2 (8)	13.9 (5)	0.0 (0)	16.7 (6)	- (36)	
小売	41.7 (5)	16.7 (2)	25.0 (3)	50.0 (6)	8.3 (1)	16.7 (2)	8.3 (1)	16.7 (2)	0.0 (0)	25.0 (3)	8.3 (1)	0.0 (0)	8.3 (1)	- (12)
運輸・倉庫	40.0 (2)	20.0 (1)	40.0 (2)	20.0 (1)	0.0 (0)	40.0 (2)	0.0 (0)	20.0 (1)	0.0 (0)	20.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	20.0 (1)	- (5)
サービス	26.3 (5)	26.3 (5)	36.8 (7)	26.3 (5)	21.1 (4)	36.8 (7)	15.8 (3)	15.8 (3)	0.0 (0)	10.5 (2)	0.0 (0)	5.3 (1)	5.3 (1)	- (19)

注1：網掛けは、山口県の全体以上を表す
注2：母数は、有効回答企業149社

まとめ

11月22日に発表した「中国地方人手不足に対する企業の動向調査（2024年10月）」によると、企業の約半数が正社員の不足を感じていた。こうしたなかで、政府が掲げる「人への投資」の本命ともいえるリスキリングに取り組んでいる企業は8.7%で、ごく一部にとどまった。リスキリングに取り組んでいる企業の現在の取り組み内容としては、「従業員のスキルの把握、可視化」が63.6%で最も高かった。一方、取り組む上での課題では、「対応する時間が確保できない」が40.9%、「対応できる人材がいない」が40.3%、「必要なスキルやノウハウがない」が34.2%で上位を占めた。

時間や人材などリソースの確保や、モチベーションの維持といった課題の解消には、経営層を中心としたリーダー層による推進力や理解が必要である。リスキリングを行うことで何が得られるのかを示し、従業員のキャリアビジョンに寄り添い合意を得ながら、進めることが大切である。

【企業からの声】

- ・ 外部の専門技術のセミナーや研修が少ない (ソフトウェア開発)
- ・ 必要と思うが誤った伝わり方をすると従業員の退職を招く可能性があるかと懸念している (印刷)
- ・ 単なる賃上げ促進政策にとどまらず、具体的な支援策を期待したいと考えている。例えば、リスキリングの実施に対する税額控除などの施策が必要 (機械製造)
- ・ 業務の複合化を目的としたリスキリングを進めているが、人手不足により現業に追われているため、なかなか進展しない。人手を確保できれば、時間的な余裕も生まれ、良いサイクルが回りそうだが、現状では難しい状況 (建設)

【問い合わせ先】 株式会社帝国データバンク 山口支店 担当：佐藤

TEL：083-974-5550 FAX：083-974-5551

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。
当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。
著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。